

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【公開番号】特開2014-26945(P2014-26945A)

【公開日】平成26年2月6日(2014.2.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-007

【出願番号】特願2012-168981(P2012-168981)

【国際特許分類】

F 21 S 2/00 (2006.01)

F 21 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 21 S 2/00 3 9 0

F 21 S 2/00 3 6 5

F 21 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月22日(2015.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

照明用の発光素子を配した投光面を有する投光部と、前記発光素子の電源基板を収める基板収容部とを一体に備え、前記投光面を外側に向けて、全体が略くの字状に屈曲し、

前記投光部と前記基板収容部の背面には、上下方向に延びる放熱フィンが形成され、

前記放熱フィンは、器具本体が前記略くの字状に屈曲した谷部分に、当該器具本体の幅方向に貫通する空気の流路が形成されている

ことを特徴とする照明器具。

【請求項2】

屋外使用の照明器具であり、当該照明器具の据え付け時の風圧を前記投光面で受け、当該投光面の背後側に前記基板収容部が位置する、

ことを特徴とする請求項1に記載の照明器具。

【請求項3】

前記投光面と、前記基板収容部とのなす角度が90度～135度であることを特徴とする請求項1または2に記載の照明器具。

【請求項4】

前記投光面の背後側に位置する前記基板収容部、又は前記基板収容部の背面に設けたユニット部に、前記発光素子の調光指示信号を有線又は無線を通じて受信する信号受信部、及び/又は、前記発光素子の調光のために周囲の明るさを検知する光センサを設けた、

ことを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の照明器具。

【請求項5】

前記投光面から出射し、照射面で反射されて戻る光を遮る位置に前記光センサを設けたことを特徴とする請求項4に記載の照明器具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0005】**

上記目的を達成するために、本発明は、照明用の発光素子を配した投光面を有する投光部と、前記発光素子の電源基板を収める基板収容部とを一体に備え、前記投光面を外側に向けて、全体が略くの字状に屈曲し、前記投光部と前記基板収容部の背面には、上下方向に延びる放熱フィンが形成され、前記放熱フィンは、器具本体が前記略くの字状に屈曲した谷部分に、当該器具本体の幅方向に貫通する空気の流路が形成されていることを特徴とする照明器具を提供する。